

【学校教育目標】「笑顔いっぱいの学校づくり」

～温かい心で認め合い、励まし合い、支え合う子どもの育成を目指して～

鬼塚小学校便り No.6

令和5年6月7日発行

文責 校長 市丸 明彦



モア スマイル



水泳学習が始まります

先日、「ハナ子まつり」を行いました。今から92年前1931年（昭和6年）8月1日、松浦川でおぼれていた2人の子どもを助けるために川に飛び込み、子どもを助けた後に命をなくされた中尾ハナさんを供養し、鬼塚小で水の事故が起こらないことを願うまつりとして長年行われいます。

6年生や5年生が一生懸命にプール掃除を頑張り、今年も気持ちよく水泳学習ができます。今年も水の事故にあわず、全員がきまりを守って、安全な水泳学習に取り組んでいきます。



地域の方々にお世話になっています

子ども達の学びには、学校での教育だけでなく、地域の方々の協力や様々な体験活動も大切です。

コロナが第5類になったこともあり、子ども達の活動に幅がでて、外部人材を活用した学習に取り組んでいます。

マザーグースの読み語りでは、楽しみに待っている子ども達が静かに聞き入る姿を見ると、改めて本に親しむことも大切さを感じました。

また、山本在住の岩崎一男先生（玄海町教育長）からは、3年生に「野鳥観察」の指導をしていただきました。

まずは、教室でバードウォッチングの歌を歌ったり、クイズをしたりしながら、校区内で見られる野鳥の種類や特徴、鳴き声等を教えていただきました。

先日は、一人ひとりが新品の双眼鏡を持ち、鬼塚中学校周辺で野鳥を観察しました。先生手作りの野鳥マップで確認すると、短時間でしたが、なんと15種類の野鳥が観察できたそうです。



学校 HP に子ども達の様子を「鬼小ギャラリー」としてアップしています。スマホからも閲覧できますので、ぜひご確認ください。なお、「鬼小ギャラリー」のコンテンツ横の「MORE」をクリックすると、過去の様子も閲覧できます。